



佐世保市立黒髪小学校

「特色ある学校づくり」について

所在地 佐世保市黒髪町52-1

校長 大浦 美輪子

児童数 471名

学級数 19学級

(児童数、学級数は R6.3.1 現在)



【教育目標】

優しく 賢く たくましく 心豊かな黒髪っ子の育成

【目指す児童像】

明るく元気な子ども 楽しく学ぶ子ども 仲良く助け合う子ども

【「特色ある学校づくり」の目的】

ひと、ふるさと、社会とつながり、豊かな人間性をはぐくむ教育活動を通して、将来かなえたい夢や希望を語り合い、その実現のために自ら学んだり、努力したりすることのできる、優しさとかくましさを備えた黒髪っ子の育成をめざす。

ひと

ふるさと

社会

さまざまな体験活動を通して、人とつながり、触れ合う。	地域の自然や施設、歴史や文化などについて関心をもつ。	福祉・平和など、社会事象について体験的に学ぶ。
<ul style="list-style-type: none"> ・栽培活動 ・体験活動 ・家族や地域とのつながり ・人(他者)への関心 ・相手の思いや願い ・コミュニケーション能力 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然(環境保全) ・地域の施設 ・地域の歴史、文化 ・愛校心の醸成 ・ふるさとへの愛着 ・伝統を受け継ぐ心 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者との交流 ・障害がある方との交流体験 ・共生社会の実現 ・戦争の悲惨さ、平和の大切さ ・自分にできる社会貢献活動 ・自己の生き方、社会との関わり方

<各学年・学級の具体的な取組内容>

【第1学年、特別支援学級】「花いっぱい運動」

【ねらい】

植物を育てる活動や環境美化活動を通して、生命を大切にする心や環境保全への関心を育むとともに、勤労の必要性について考え、働くことの喜びを感じさせる。また、自分たちが育てた花を卒業式会場などに飾ることで、6年生への感謝の気持ちや愛校心を育む。

【活動の概要】

ヒマワリやホウセンカなどを種から育て、学校の環境美化を図った。



【成果】

花を育てる活動を通して、生命を大切にする心を育てるとともに、自分の係や役割を果たす中で、友達と協力をして全体のために働くことの喜びを感じさせることができた。また、自分たちが育てた花で学校を彩ることで、愛校心も育まれた。

【第2学年、特別支援学級】「野菜を育てよう」

【ねらい】

野菜を育てる活動や環境美化活動を通して、生命を大切にする心や環境保全への関心を育むとともに、勤労の必要性について考え、働くことの喜びを感じさせる。また、友達と協力して芋を育て、秋に収穫を行い調理して食べる活動を通して、収穫の喜びを味わわせるとともに、命の恵みに感謝する心を育てる。



【活動の概要】

トマトやキュウリなどを学級の友達と協力しながら苗から育てた。収穫した野菜は、各家庭に持ち帰って、家族の人たちと調理して食べた。

【成果】

友達と協力して野菜を育て、収穫し、家庭で食べる活動を通して、収穫の喜びを味わい、命の恵みに感謝する心が育まれた。また、家族の人と調理することで家族だんらの時間が生まれ、親子間の心の交流を図ることができた。

【第3学年】「笑顔いっぱい町づくり」

【ねらい】

自分たちが育てた花を地域の幼稚園やお店などへ届け、同じ地域に暮らす人々の心を豊かにしようとする態度を育てる。

【活動の概要】

ポータチュラカやマリーゴールドなどの花を苗から育て、学校の環境美化を図った。また、近隣の幼稚園や銀行などと連携して、育てた花を地域に飾った。また、お祝いとして、自分たちが育てた花を卒業式会場などに飾ることで、6年生への感謝の気持ちや愛校心を育むことができた。

【成果】

自分の育てた花が、地域の環境美化につながったことを感じさせることができた。そして、地域に貢献できたことを全員で喜び合い、今後、学校や地域で生活する人々の心を豊かにしようとする態度を育てることができた。



【第4学年】「平和について考えよう」

【ねらい】

原爆や戦争のことを体験的に学び、平和の尊さについて考え、自他の命を大切にする心を育てる。

【活動の概要】

6月の佐世保大空襲の日には、平和集会後に全校児童で折り鶴を折る活動を行った。4年生が原爆資料館等の被爆遺構の見学を通して、戦争の悲惨さや平和の尊さについて学び、全校児童で作った折り鶴を平和公園で捧げた。

【成果】

原爆資料館で実際に被爆した物を見たり、当時の話を聞いたりしたことで、平和への願いを強くした。また、自分たちの手で作った折り鶴を捧げたことで、より深く命を大切にする心情を育むことができた。



【第5学年】「元気野菜づくり」

【ねらい】

野菜を育てる活動を通して、自らの食生活について課題を見つけ、よりよく解決する方法を考えることで、食の循環や食育について関心を高めるとともに、健康な体づくりや基本的な生活習慣を実践していこうとする態度を育てる。

【活動の概要】

野菜を育てる活動を通して、食生活や環境保全について自らの課題を見つけ、元気な体づくりや基本的な生活習慣に向け改善していこうとする態度を育てた。



【成果】

土づくりから収穫まで、お互いに協力をしながら目標をもって主体的に学ぶことができた。また、学級通信などを通して保護者にも活動状況を周知し、家庭と連携して食生活をはじめとした生活習慣について考える態度を育てることができた。

【第6学年】「全ての人々が生き生きと暮らせる社会に」

【ねらい】

車いすバスケットのparaスポーツ体験を通して、人権や障害に対する理解を深める。また、「自分にできる福祉」をテーマとした調べ学習とポスターセッションを通して、現代社会が抱える課題との自分自身との関わりに感心をもち、相手の立場を理解し、思いやりの心を育てる。

【活動の概要】

講師を招いて車いすバスケットボール体験を行った。また、大学生をはじめ、地域に暮らす人たちの講話を聞いて人権や多様性について学びを深めた。



【成果】

車いす体験や様々な立場の講師から話を聞く中で、人権に関する理解を深めるとともに、障害者に対する社会全体の課題について考えることができた。また、前向きに生きる講師の姿を通して、夢に向かって努力することの大切さについても考えを深めることができた。相手の立場や気持ちを考えて行動するの大切さに気付くことができた。

【全学年】「学力向上への取組」

【ねらい】

- (1) 校内研究や日々の授業改善の成果を検証するために、学年末に全学年を対象に国語科の学力テストを実施する。その結果を分析し、本校児童の重点課題を明確にして今後の学力向上に向けた具体的な手立てを講じる。
- (2) 全児童に紙ファイルを配付し、ポートフォリオ形式で朝の活動(かきかきタイム)で取り組んだプリント等を保管する。継続的な取組を通して、児童一人一人の「書く力」を高める。



【活動の概要】

- (1) 標準学力調査(国語)を全学年で実施し、校内研修の仮説及び成果について検証を行った。検証結果から今後の課題を見出し、全職員で共通理解を図り、授業改善に取り組んでいった。
- (2) 毎週水曜日の朝の時間に「かきかきタイム」を設定し、各学年の実態に応じて「書く力」や「ことばの力」を高める学習に取り組んだ。この学習で使ったプリント等を個人ファイルに綴じさせて、学びのあしあとを残しながら成長を振り返る機会とした。

【成果】

研究主任を中心に研究の柱や目的を明確にして全職員で研究活動を進めることができた。また、全学年で学力調査(国語)を実施し、本校全体の児童の伸びた力と課題が明らかになった。